

「アジア母子福祉協会」

設立趣意書

現下の世界情勢は、依然として冷戦後の混沌とした過渡期の状態にとどまっているところ、人類がその叡智を傾けて、冷戦構造に代わるべき新たな国際秩序の構築に取り組むことは、二十一世紀に当面する最重要課題となっております。この取り組みにおいて、日本が担うべき責務としては、アジア諸国の発展を促し、諸国間の人的、物的、文化的交流を通ずる相互理解の増進と関係強化を図るために、積極的な役割を果たすことを何よりも先ずあげねばなりません。これがための努力においては、政府の果たす役割にまつところ大ではありますが、そのみにては到底十分とは言い難く、非政府の各種団体が政府と力を合わせ、これを補完する活動を展開することが不可欠と考えます。

このような認識に立ち、アジア諸国民の福祉増進と文化交流の促進に、非政府組織として可能な限りの貢献を行うべく、志を同じくする者が集い、ここに「アジア母子福祉協会」を設立することといたしました。

本協会の活動は（１）アジア諸国に対して、保健、医療、教育、環境、その他住民の生活改善に資する事業を行い、以ってその発展に寄与すること及び（２）アジア諸国間の文化交流を促進し、相互理解を図ることを二つの大きな柱といたします。

対象となるのはアジア各国ですが、当面、特にミャンマーを取り上げ、この国に主力を注ぐことといたします。ミャンマー向け活動を展開するに当たっては、同国の有力なNGOで、現に顕著な実績を積んでいる「ミャンマー母子福祉協会」などと提携し、これとの密接な連絡、協力のもとに実施することといたします。

本協会設立の趣旨にご賛同いただき、多数の個人、法人が本協会に参画、支援、協力賜わることを熱望しております。

平成12年3月31日

「アジア母子福祉協会」

設立発起人代表 山口洋一